

エンディングノートは項目で分かれていて、何をどのように考えているかチェック式となっているため、整理し忘れを必然的に無くすることができます。



毎月1回、松葉公園斎場にて終活コンサルタント田中佑樹氏による「終活をはじめて考える時間」を開催しています。

「葬儀で9割のご家族があったらよかったのにと感じたものとは？」

皆さんは「エンディングノート」をご存知でしょうか？

エンディングノートは、もしもの時に備え、自分の考えや念いをはじめ、様々な項目に必要な情報を書き記しておくものです。

実は、これまでスズソウでご葬儀をしていただいたご家族の皆さんの約9割が、このエンディングノートがあったらよかったのにとおっしゃっています。長年生活を共にしてきた家族であっても、互いに知らないことは意外と多くあるものです。

ましてや急に別れが訪れた時、家族が故人の遺志を尊重したいと願っても、その手立てがわからず途方に暮れてしまふ、ということは少なくありません。そんな時にエンディングノートが残されていれば、葬儀はもちろん、葬儀後もどのようにすれば故人の念いに寄り添った対応ができるかがわかります。

また、ご本人にとっても、残された家族に負担をかけてしまふ心配を減らすことができます。

スズソウではエンディングノートの大切さを皆さんに知っていただき、ご本人やご家族が心から納得できる、悔いのない葬儀をあげていただくためのお手伝いのできたらと考え、専門の講師によるセミナーを開催させていただきます。

「家族の絆ノート」始めてみませんか？

**家族と念いを共有することが
なによりも大切**

エンディングノートは年齢を問わず、いつでもスタートしていただいで構いません。なぜなら、スズソウではエンディングノートとは人生の最後に向けて書くものではなく、家族が互いの念いをつなぐ役割を果たす『家族の絆ノート』であると考えているからです。エンディングノートを書くことは、自分の人生を振り返り、そしてこれからの人生をどう生きていきたいかを見つめ直し、気持ちを整理整頓するきっかけとなります。そして、そのお気持ちをご家族と共有していただくことが、このノートの大きな意義であると私たちは思っています。

またノートには、これまで行ったことのある思い出の場所やこれから行ってみたい場所などを記入するペー
ジを設けています。ノートに書くことで
思い出して再訪してみたり、行ってみ



エンディングノートに 記載しない方がよいこと

- 資産や財産の金額などの詳細
(財産の分け方なども同等)
- 通帳や印鑑の保管場所・暗証番号
- クレジットカードの詳細・パスワード等

基本的に金銭に直結する内容です。上記内容は本人の意図としない場面で搾取されてしまう可能性があるためです。

この部分は、遺言書を残すなどの対策が必要です。エンディングノートの管轄外ということです。



たい場所に家族で訪れ、新たな思い出づくりができます。

夫婦や親子、兄弟姉妹であっても言葉で伝えないとわからないことはたくさんあります。このノートを片手に家族へ自分の考えを共有することで、家族の考えも知る良い機会となります。そして半年に1回から年に1回はエンディングノートを振り返る時間を設け

「終活をはじめて 考える時間」開催中

エンディングノートの必要性、記入時の注意点や活用方法等を無料参加で講演しています。

セミナーにご参加いただく大半の方が「終活をしたいが何からはじめていいかわからなかったが、今後取り組む項目が、明確になった」、「エンディングノートの項目に沿って考え方を整理していきます」と仰っていただきます。

詳しくは4面のイベント情報をご覧ください。



ていただきたいということなのです。日々生活環境は変化していくものです。完成して保管ではなく、定期的に更新することで記載内容を思い出したり変更したりと安心を担保してくれると言っても過言ではありません。より自分らしい人生を生きるために、そしてさらにご家族との絆を深めるために、スズソウの『家族の絆ノート』をぜひ活用していただきたいと願っています。

季節のコラム

～和風月名～

7月

文月
(ふみづき)

稲穂が膨らんで実る時期だから、穂含月(ほふみづき)や含月(ふくみづき)が転じて文月となった説や、昔は七夕に歌(文)を詠んでいたことから文月となったなど、由来には諸説あります。



8月

葉月
(はづき)

木の葉が紅葉して舞い落ちる様子から、葉落ち月が葉月となったと言われています。

8月はまだまだ夏真っ盛りで暑い時期なのに紅葉?と思うかも知れませんが、旧暦では8月は秋となります。



9月

長月
(ながつき)

9月は旧暦では10～11月にあたり、この時期は冬至が近づくにつれ、だんだんと夜が長くなっていくことから、夜長月が転じて長月となったと言われています。

また、稲が熟して収穫の時期になるため、稲熟月(いなあがりつき)が長月になったとも言われています。



やすらぎ物語

ご家族参加型の記憶に残るお葬式



スズソウでご葬儀をされたお客様の「ご家族での送り方」をご紹介します。

愛用品に囲まれて生前のお姿が蘇る心ふれあう特別な時間。

故人様は晩年足が悪く、電動車イスを愛用していました。その電動車イスを祭壇横にお飾りし、一緒に好きだった焼き芋も再現しようと、公園で落ち葉を拾い集め一緒にお飾りしました。

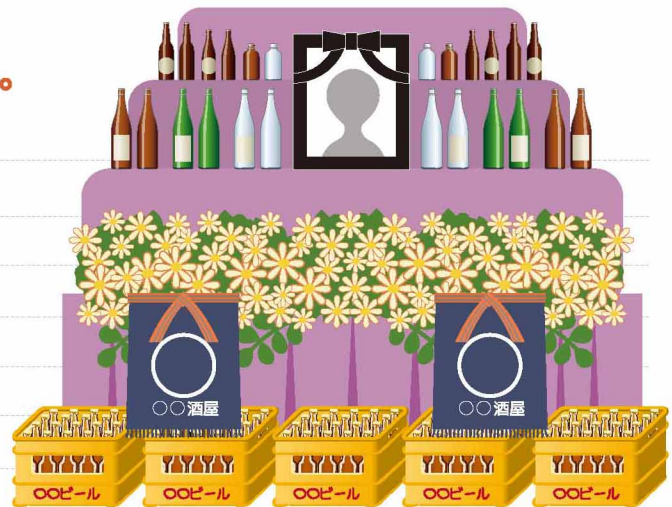
ご近所の参列された皆様は、その飾りを見て故人様の生前のお姿を偲んでいただけました。

亡き人とのお別れ、蘇る思い出こそが真の供養だと感じました。



斎場内に酒屋を再現し故人様への感謝の気持ちも。

お父様のお葬儀で、ご長男様から「父は酒屋を立ち上げ、様々な苦勞を乗り越え今日まで私たちを守ってくれた」とお話を伺いし、お店にあるお酒やお酒の樽、創業当時からの思い出のお品を祭壇にお飾りすることをご提案し、飾らせていただきました。ご遺族、ご親族様共にご満足いただき、ご提案できてよかったです。



葬儀 Q&A

Q 戒名(かいみょう)ってよく聞くけど、どんなもの？

A 宗派によっては「法名(ほうみょう)」「法号(ほうごう)」ともお呼びしますが、一般的には仏教において受戒した者に与えられるお名前でも仏門に入った証であり、戒律を守る印として与えられます。仏様の弟子になったことの証明、とも言われております。

Q 亡くなった母は、コスモスの花が大好きでした。祭壇の周りを好きだった花で飾りたいのですが、可能でしょうか？

A 今は、白木の祭壇だけではなく、生花祭壇でのご葬儀をされる方が増えてまいりました。故人様がお好きでしたお花をリクエストする方や生前の愛用品を飾りたい方など沢山いらっしゃいますので、まずは私どもへご相談ください。可能な限りお手伝いをさせていただきます。

回答者

一級葬祭
ディレクター
中野 克樹



Q 法要を行うのに、大安や仏滅といった日取りは気にしなくていいのでしょうか？

A 死者の追善の法要ですので、大安などの縁起を気にされる必要はありません。